



# 注合だより 入善

にゅうぜん



無火災を願う心意気

## 12月定例会

- ★一般会計の概要…………… 2 P
- ★常任委員会レポート…………… 4 P
- ★決算を認定(決算特別委員会)…………… 6 P
- ★一般質問(9議員)…………… 8 P
- ★ありやどうなつとるがけ…………… 18 P
- ★傍聴席からひとこと・視察記…………… 20 P

自治省指定

# (仮)ふれあい交流プラザの建設計画 国際交流のまちづくり



▲ 建設進む桃李小学校

## なごに補正

12月の定例会は、12月8日から21日までの14日間の会期で開かれた。今回の定例会では、2億6428万5000円を増額し、予算総額を112億1919万9000円とした。  
歳入の主なものは、地方交付税、国の負担金、県の負担金、補助金、繰越金、町債、分担金及び負担金などであり、歳出の概要は次のとおりである。

リーディング  
プロジェクトの  
事業計画スタート

ふれあい交流プラザの整備計画などを盛り込んだ、自治省指定のリーディングプロジェクト事業を推進する計画策定費のうちの本年度分を新規に補正する。  
(961万円)

国際交流の  
まちづくりに期待

国際交流のまち推進プロジェクト事業が自治省から指定を受け、外国人向けの生活情報ガイドブックの作成やホストファミリー協会の設立などである。  
(392万円)

集中豪雨による  
災害復旧工事  
順調に進む

7月の集中豪雨による林道六谷線や中谷線の土砂崩れ災害復旧工事費である。  
(1077万円)

桃李小学校  
建設費を増額

桃李小学校は当初予定地よりも正規田一枚分奥まっして建設することになり、敷地面積が約5400㎡増加したこと、また、グラウンド工事が国の補助対象となり、一部を本年度中に整備する。  
(2508万円)

# 農業関連予算を大幅に増額

ガット・ウルグアイラウンド対策や  
景気浮揚対策に伴う国、県の補正を受ける

## 予算増額で進む

### 農道整備

### 土地改良事業

舟見・野中地内の県営一般農道整備事業や土地改良事業などを増額し、事業を促進する。  
(1億808万3000円)

## 除雪対策の

### 強化を図る

除雪業者への委託経費の増額と、業者への通報システムを整備し、出動体制の迅速、かつ正確性を図る。  
(2897万2000円)

## 前倒して

### 排水路整備も促進

農村基盤総合整備事業では、舟見地区の消雪工事区間の増加による負担割合を見直す。

飯野西部地区では、排水路の整備を前倒して実施する。  
(7824万4000円)

▲ 歩道確保に忙しいロータリー車

## 議員選出の監査委員

### 石川昭男氏に同意



石川昭男氏

前任の本田幸光氏が、平成7年12月21日に退職されたので、その後任として選任することに同意した。

## 監査委員とは

町の財務に関する事務の執行および経営にかかわる事業の管理を監査する委員を言う。委員は、必要があると認めるときは、普通地方公共団体の事務の執行について監査でき、機関委任事務（政令で定めるものを除く）も対象となる。

町長が議会の同意を得て選任する。

本町では、定数は2名、うち1名は識見を有する者のうちから選任し、他の1名は議会議員のうちから選任する。

# 常任委員会レポート

12月15・18・19日の3日間、それぞれ総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会が開催され、付託された議案を審議した。

特に今回は、来年度予算編成前とあってか、請願、陳情が多く、中でも日米地位協定、定住外国人、新食糧法、行政改革に関するもの等、グローバルな視点からの議論が求められる時代が到来したことを実感した。その要旨を報告する。



▲ にぎわった「さかなの港町同窓会」

## 総務

国庫補助金1500万円

の減額は遺憾

漁業環境整備事業で予定していた芦崎海岸の事業採択が、来年度に先送りとなったものであり、理由はどうかあれ、見通しが甘いと見わざるを得ない。今後の糧とせよ。

「ふれあい交流プラザ」

扇状地文化むらに期待

健康づくり、国際交流、情報の発信基地などを内容とするリーディングプロジェクト推進事業が自治省の指定を受けたもので、町民の期待も強く、市街地の中心部である現在の健康センター跡地を中心に建設することが望ましい。

日米地位協定の抜本的見直し

し意見書は、議員提出で

「米兵による少女暴行事件」に端を発した基地沖繩の問題は国政を揺るがす懸案課題となっている。請願として提出された議案であるが、問題の重要性に鑑み、議員提出議案として全会一致で採択したものである。

定住外国人への参政権は

国、県の動向を見る

6月議会につき、本定例会に陳情されたものであるが、委員会の審議では、定住外国人の皆さん全体の意見として機運が高まっていないのかとの意見が出され、国、県の方向を見定めたいとして継続審査とした。

総務常任委員会

委員長 本多幸男

## 国に提出した

米兵による少女暴行事件

に抗議し、地位協定の

見直しを求める意見書

日本政府は、米軍に対し、綱紀粛正と人権教育を徹底し、再発防止に最大限の努力を払うこと、また、現行の日米地位協定を早急に見直し、改正することを求める。

建設省黒部工事事務所の

機構拡充・防災・地域生

活関連公共事業費拡大を

求める意見書

我が国の国民生活や経済の基礎である道路、公園、河川、海岸等の社会資本整備は、まだまだ立ち遅れている。また、集中豪雨による土砂崩れの発生や河川堤の決壊、寄り回り波による高波の発生など、防災対策が急務であり、地域住民の期待に応えるべく生活関連公共事業費の拡大と、それに伴う機構拡充を図るよう求める。

## 文教厚生

### アルミ缶も月一回の

#### 資源物回収の対象に

町民の協力で資源回収の実績が伸びている。

アルミ缶回収機の実績は評価するが、問題点もあり、来年度から、アルミ缶もスチール缶と同じように資源物回収の対象とするよう要望する。

### これまでの学校建設の問題点を桃李小学校に活かせ

4月に開校したひばり野小学校では屋根の雨漏りや飲料水の濁り、使い勝手の悪い調理場などの問題点が多い。

現場や地元の見解、要望をもっと尊重し、設計など初期段階で充分活かし、予算の効率的な執行に最大限努力することを要望する。

## 産業建設

### 新食糧法下、農業の

#### 新施策に予算配分を

低コスト農業推進事業は集落営農組織化実践事業で生産システム

の条件整備を行うものである。また、担い手の育成、共同施設

においても、高齢者を対象とした施設の整備を図るものである。陳情18号は農協のカントリーエレベーターの建設助成に関するもの、19号は、地域農業基盤確立農業改善事業で、球根の乾燥調整プラントの建設であり、それぞれ採択した。

### 地区民の声に

#### 耳を傾けよ

請願9号、新屋地区公民館建設、同12号、棚山地区交流センター（仮称）建設の2件については、行政の一方的な考えを慎み、地区民の要望に応え、早期建設に努力されたい。

文教厚生常任委員会  
委員長 田原 進

### 道路の整備

#### 土改事業は早期完工を

ひばり野小学校の関連道路、桃李小学校の関連道路は、開校までの完成を望む。幹線道路改良舗装事業をはじめ、町道6路線の補正も組まれた。

また、平曾川土地改良事業は、県営事業として、大型事業で早期完工が望まれる。

### 除雪対策は万全に

6753万円が計上され、347路線（213km）が対象となる。町民生活に不便のないよう期待する。

産業建設常任委員会  
委員長 早川 誠一

## 下記の意見書を

寒冷地手当での支給水準を引き下げる見直しを行

わず改善を求める意見書

自治体労働者をはじめ、公務員労働者に支給されている寒冷地手当での支給水準を引き下げる「見直し」を行わず、寒冷地における生活費など生活実態を踏まえた改善を求める。

食糧・農業・農村基本法

の制定を求める意見書

今こそ、農林業の再建が食料の安全、安定供給、自然環境を守ることにつながることを重視すると共に、21世紀の人類の最大のテーマである「食料と環境」について、これまで以上に国際的な動きを重視し、世界の人々と共に持続的に生存できる「共生の時代」に向けて、新たな「食糧・農業・農村基本法の制定」を求める。

地方自治法第99条第2項

議会は、当該都道府県市町村の公益に関する事件につき意見書を関係行政庁に提出することができる。

# 町のお金を適正かつ

# 効率よく使われた方が審査

## 決算特別委員会

平成7年9月22日開催の定例会において、付託された平成6年度の各会計（一般・国民健康保険・老人保健医療・簡易水道・育英奨学資金・分譲宅地）については、12日間にわたる慎重な審

査をした結果、適正な執行と認め、賛成多数で認定すべきものと決定し、12月21日の本会議に報告され、認定した。その概要と審査の過程で出された要望や意見は、次のとおりである。

### 一般会計

歳入総額は114億9880万9000円である。主なものは町税29億4041万4000円、地方交付税26億9320万1000円、町債13億5530万円である。歳出総額は予算現額115億5509万9000円に対し、支出総額110億695万9000円で、執行率は95.3%で前年度に比べ1.9ポイント増加した。

### 食糧費の

#### 削減目標を評価

6年度の官官接待費は186万円支出されている。食糧費支出のあり方が見直され、7年度（下期）は20%の削減を目標とし、8年度も削減の方針を示した

ことは評価する。

今後は食糧費本来のあり方にたつた予算計上を強く要望する。

### 国際交流ハウスの

#### 建設計画を見直せ

国際交流は、姉妹都市であるフォーレストグループ市との交流を中心に、活発化している。

ホームステイすることで、充分国際交流が図られるので、建設計画の変更を求める意見もでた。

### 公共事業指名業者の

#### 選定は真剣な検討を

工事中の工程及び品質管理、完成の精度など実績を充分に勘案のうえ、町民から見ても、納得できる透明性と公平感がもてるよう真剣に検討されたい。

## 陳情のゆくえ

今定例会には請願7件、陳情8件提出され、関係常任委員会で審査した結果を報告する。

### 総務常任委員会

「日米地位協定の抜本的見直しを求める」意見書提出……継続審査

請願者 新川民主商工会

会長 橋本文一

「日本電信電話株の経営形態の在り方」に関する意見書提出……継続審査

請願者 全国電通労働組合富山支部

執行委員長 能村義則

「寒冷地手当での改善に反対し、改善を求める」意見書……採択

陳情者 寒冷地手当で改善反対富山県

共闘会議 代表者 広瀬 信

「定住外国人に対する地方選挙への参政権に関する議会決議」を求める……継続審査

陳情者 在日本大韓国民団富山県地方本部

地方団長 金翊教

### 文教厚生常任委員会

「新屋地区公民館建設に関する請願」……採択

請願者 新屋地区公民館建設促進協議会

会長 袖野成幸

「桐山地区交流センター（仮称）の建設……採択

請願者 桐山地区代表

区長会長 長島幸一

「ゆきとどいた教育を求める」意見書……不採択

陳情者 ゆきとどいた教育をすすめる

富山の会 代表者 東山福治

# 美術品の購入

## 適切な審議を期待

美術品購入に当たっては

「美術品管理委員会」の適切な審議がなされていないように見受けられるので明文化されたい。

なお、保管管理を徹底するように強く要望する。

### 国民健康保険

歳入総額は17億497万5000円、歳出総額は15億9510万7000円であり、歳入歳出差引1億986万8000円を翌年度へ繰越して終結した。被保険者1人当たりの医

療費は39万5656円であり、伸びが鈍化の傾向にある。

保健婦活動を中心とした従来の予防医療の取り組みが効果を奏したものと考えられ、今後も予防医療に一層の努力を要望する。

### 老人保健医療

歳入総額は27億619

8万3000円、歳出総額は27億2444万7000円であり、歳入歳出差引3753万6000円を翌年度へ繰越して終結した。一人当たりの医療費は78万7999円であり、12%の伸びとなった。訪問指導、機能訓練、健康教育、健康相談、各種がん検診を強化し、医療費抑制に努力されたい。

決算特別委員会  
委員長 広瀬喜代志

## みなさんの請願

「国民の願いにこたえる公的介護保障の確立を国に要望するよう求める」………継続審査  
陳情者 富山医療生活協同組合  
理事長 黒部信也

### 産業建設常任委員会

「町道小杉、町新屋線の道路拡幅」………採択

請願者 入善町農業協同組合

代表理事組合長 笹島太一

「食糧・農業・農村基本法の制定」に関する請願………採択

請願者 富山県労働会議

議長 藤井 昇

「建設省黒部工事事務所の機構拡充・大幅増員と防災・地域生活関連公共事業費拡大」を求め………採択

請願者 全建設省労働組合北陸地方本部

黒部支部 支部長 中山兼一

「カントリーエレベーター建設に係る事業の導入と助成」………採択

陳情者 入善町農業協同組合

代表理事組合長 笹島太一

「地域農業基盤確立農業構造改善事業による球根乾燥調整プラント施設の導入」………採択

陳情者 農事組合法人

富山東部球根プラント組合

組合長理事 本田 保

「町道の新設及び舗装」………採択

陳情者 吉原1区

区長 林 修二 外5名

「報徳用水路の改修における農家負担の軽減」………採択

陳情者 平曾川沿岸土地改良区

理事長 島瀬巳吉 外8名

## 反対討論

政府は、地方交付税を減額する一方で、地方自治体に借金を押しつける姿勢を強め、入善町も、特に土木費と農林水産業費の町債が大幅に増えている。ひばり野小学校の雨漏りの原因究明と対策を徹底し、桃李小学校建設に活かすこと。町でも、明らかになくなった「官官接待」を廃止し、食糧費を大幅に削減すること。また、議会終了後、議員と町当局が酒食の場をもつ習慣はやめるべきである。国からの圧迫に対し、その本質を町民に知らせ、町民に「財源不足」を転嫁している平成6年度の各会計決算に同意することはできない。

▲ 衣替えした「発電所美術館」



# い っ ぱ ん 質 問



▲ 新食糧法の研修会

新年度予算編成期を目前に、本定例会の一般質問は12月13日(水)、14日(木)の二日間に行われて行われた。

町長の基本姿勢、今後の施策について、各会派の代表質問をはじめ、9名の議員が登壇、論陣を張った。

主な内容は、「予算執行状況」、「新年度予算編成の基本方針」、「景気浮揚対策」、「新食糧法下の対応策」、「官官接待の実情」、「「出し平タム排砂影響調査」、「ごみ問題」、「新幹線対策」、「水博物館構想」、「いじめ対策」、「吉田邸の移転、復元」などである。



# 新年度予算編成に当たり 財源確保の見とおしはどうか

田原 進議員（自民党議員会代表）

## 町長 財源の調整、経費の削減 事業の見直しで対応



▲ 早くよくなって家へ帰ろうネ（こぶしの庭）

**問** 補正により、予算総額112億1919万9000円となるが、財源の見通しと予算の執行状況をたずねる。

**町長** 自主財源の高いウエイトを占める町税で、予算額30億3020万円に対し、現在調定額30億220万円であり、おおむね予算ベースを確保できると考えられる。  
現在、一般会計の執行状況

況は76億9210万円で68%の執行率で、義務的経費を除けば、順調に事業を遂行している。

**問** 新年度の予算編成にあたり、国・地方を問わず厳しい状況下で財源確保の見とおしはたっているのか。  
**町長** 平成8年度一般会計予算規模は111億3000万円、財源の調整・経費の削減・事業の見直し等

が必要であり、厳しい社会状況の中での確に対応していく。

### 在宅福祉を 積極的に推進せよ

**問** 介護を要する老人に対して、在宅福祉を積極的に推進する考えはないか。

**町長** 現在、一人暮らし老人は約300人、寝たきり老人約65人がおられ、在宅

福祉サービスの3本柱である、デイサービス、ショートステイ、ホームヘルプサービス等で積極的な充実を図る。

**問** 町教育現場で、いじめ問題が生じていないか。

**上原教育長** いじめと云うのは、非常に見えにくいのが特徴であり、本町においては、小学校で4件、中学校で5件と報告を受けているが、いまのところ深刻に発展するものと受けとめていない。

今後も、早期発見、早期の対策に全力を注ぐよう指導していく。

### 行政として

#### 米の販売拡充策を

#### どう展開するのか

**問** 新食糧法が制定されたことにより、新たにコメ余り状態が懸念されるが、行政として販路拡充策をどのように展開するのか。

**青木助役** 新食糧法では、生産者が自由にコメを販売できるが、「より付加価値の高いコメ」を生産し、卸売業者から入産米をと逆指名されるよう農協と連携し、PRに努める。

# 景気浮揚・雇用の拡大策を

## 行政側から支援せよ！

本多 幸 男議員（町民クラブ代表）

町長

### 無利子貸付け制度で企業の活動を支援する

問 町内企業の景気浮揚対策と新卒者の雇用拡大について行政サイドから強力な支援策を実行されたい。

町長 国や県が強力な経済振興策を実践し、町も相呼応する形で進めたい。

国は14兆2200億円の第二次補正予算を組み、早期の景気対策を講じており、町としてもUR対策関連事業、公共事業費の受け入れなど積極的に取り組んでいる。

町独自の施策として、民間企業の活動を支援するため、「入善町地域総合整備資金貸付要項」を作り無利子で貸付ける制度を今年度中に実施したい。

景気浮揚と新卒者の雇用拡大の起爆剤になればと念じている。

問 町は二年前、職員の活性化を目的に9級制を議決しているが、実質が伴っていない。理由は何か。

町長 指摘のとおりであるが、県下全般の動向から県当局の行政指導があり、今しばらく進捗状況を見守りたい。

### 産地間競争と 営農指導

問 産地間競争に勝てる農業育成と複雑化する営農指導の拠点である「農業改良普及センター」を町に残すべきと考えるがどうか。

町長 新食糧法施行で町の農業も正念場を迎えている。先般、県当局より農改センターの統廃合の説明を受けたが、入善農改センターを継続の方向で県に強く働きかけていきたい。

### 教育行政と いじめ対策

問 上原新教育長に教育行政の基本理念を伺いたい。

また、いじめ対策として、生徒主体の「いじめパトロール」の組織化を提案する。上原教育長 教育は国づくりの根幹であり、重く受けとめている。

学習指導要領の見直しを含め、現場は過密化している。ゆとりある教育をめざし、渾身の努力を傾注したい。

いじめ、不登校等の現象は社会の複合病果である。家庭では、少子化による過保護と過剰な期待感が根本原因と言える。

学校では、現状よりゆとりが出れば、問題現象は相当改善される。「いじめパトロール」は今直ちにそぐわないが、提案として受けとめたい。

▲ 町の活性化に貢献する地元企業



# 女性プランは高齢者と 福祉を基本目標にすべき

東 狐 和議員 (町民クラブ)

企画財政課長

## 推進委員会を設置し 実行していきたい

問 男女共同社会の実現にむけて策定されている女性プランは、人間の生涯にわたる行動計画である。  
基本目標は教育・社会参加・就労の3本柱だが、女性のライフステージ別推進について、高齢者と福祉をぜひ基本目標に提言する。  
平崎企画財政課長 高齢化

社会の到来に応じた女性施策など、入善町女性プラン推進委員会(仮称)を設けて具体化し、実行していきたい。

### 10周年を迎える コスモホールの 記念事業の 企画を問う

問 来年10周年を迎えるコスモホールは、優れた音響効果を生かしたクラシック音楽の文化活動の拠点として高く評価を受けてきた。  
10周年のホール記念事業の企画と今後の運営方針を伺いたい。  
町長 コスモホールは新川地域の文化振興の核として

役割を果たしてきた。

記念事業は特色を生かしたコスモホールならではの思いきった企画をやりたい。  
また、環境施設などを改良し、サービスのグレードアップを図り、対応したい。

### 官官接待について 見解を伺う

問 官官接待の是非について町長の見解を聞きたい。

町長 官吏が官吏を接待することは、情報を交換し、懇親を深めるために、節度の中であれば最小限必要である。  
8年度の予算編成では、最低でも食糧費の10%削減を目指す。

問 オンブズマン制度(苦情処理、市民行政監察官)についてどのように考えるか。  
町長 監査委員の半常勤体制を取るなど、現行制度で十分機能を果たしている。

将来的には、監査委員事務局が町村レベルでも設置できるように働きかけていきたい。



▲ 国際コンクール優勝で話題のルーマニア室内管弦楽団 (コスモホール)

# 出し平ダムの緊急排砂の

## 影響を問う

岡島 功議員（自民党）

町長 現在調査中である



▲ 水はけの悪い西中グラウンド

問 町の入札基準が問われているが、どのように行われているか。

町長 主として、指名入札を行っているものであり、公報等で順次発表している。

桃李小学校の入札については、意向確認指名競争入札をしたところである。

入札に際し、呉東地区に事務所を設置し、経営事項の900点以上の業者を指名した。

通常の入札については、A・B・C・Dの4ランクに区分して指名を行っている。地元業者は一ランク上で指名を行っている。

### 西中のグラウンド整備の方針を示せ

問 西中学校の大規模改造とグラウンドの整備の方針を

お聞きしたい。

町長 3億5000万円、二カ年で整備したのであり、前方校舎のみの改造であった。

今後の改造については、緊急なものを除いて、じっくり検討していきたい。

また、グラウンド整備については、補助金の対象にならないので、部分的な修繕をしていきたい。

### 宇奈月ダム

#### 審議委員会の

#### 位置づけについて

問う

問 排砂ダム検討委員会や宇奈月ダム審議委員会等の位置づけは、どうなのか。町長 住民の意見を聞くために審議会を設けるものであり、予算の確な執行を

調査するものである。

ダムの排砂機能や上水道としての使用等、多目的ダムとしての意見等を今後も発言していきたい。

問 出し平ダムの緊急排砂の影響等について報告願いたい。

また、今後の対応を聞きたい。

町長 土砂災害の第二次災害等の防止をするための緊急排砂を実施したと考える。当初、190万㎡の予定が172万㎡となったが、

影響については調査中であり、現在、明らかでない。

内水面、沿岸漁業への影響はあったものと思える。今後の結果を見て、関電が被害補償について対応するものと理解している。

# 高齢者の生きがい 健康対策は

福沢憲一議員（自民党）

## 町長 ふれあい交流プラザを建設する



▲ おかげさまで長生きしますちや（老人福祉センター）

### 町の人口対策に どう取り組むか

**問** 本町の人口は、国勢調査を見ると平成2年には2万9625人であったが、平成7年では2万8886人と739人の減少である。町は年々減少してきた原因を正確につかみ、対策を取ってきたのか疑問である。地方交付税にも影響があるので、人口対策に積極的に取り組む意思があるか。

**町長** 町として、独自の手法で人口増の対策を取っていく必要がある。

現在、3人目の子供が生まれたら3万円、4人目の子供には5万円と税金を支給しているし、保育所は4人目は無料としている。

横山地区のように松風団地を作ることに、人口が増えている。

これからも、町で団地造成を検討していく。  
**島瀬建設課長** 現在ある町営住宅は低所得者を対象と

### 老人の健康対策に 転作田を

#### 活用せよ

したもので、結婚した若い人達のための、中所得者が入居できる町営住宅の建設も考えており、人口対策として、来年度予算要望で、町営住宅のマスタープランを作成したい。

**問** 寝たきりの人や、障害のある人の対策は、もちろん大変なことであるが、

それ以前に寝たきりにならないよう、健康を保持することが高齢者の幸せにつながるものと考ええる。  
転作田を借り受け、老人クラブに高齢者農園として利用させる考えはないか。

**町長** 土のふれあいは精神の安定、健康によいと考える。  
農協と相談し転作田の確保を前向きに検討する。

**問** 肩がこる、腰が痛いといった病状は、高齢者になるとひどく、他の病気を誘発することも少なくない。はり・きゅう、マッサージなどの治療を受けた場合、一回当たりの支給額や、利用回数を制限し助成する考えはないか。

**町長** 助成するにしても、公平の原則を守りながら医療とのかねあいを見て、今後検討したい。  
**上原福祉課長** ふれあい交流プラザの建設も計画されており、マッサージ機の充実を図り、対応したい。

# 「官官接待」を全廃し

## 食糧費を大幅削減せよ

九里 郁子議員（日本共産党）

### 企画財政課長

### 食糧費は引き続き見直したい

借り換えで

起債（借金）を

低金利に

問 地方債の現在高は平成6年度決算で80億1877万円もある。  
高金利の地方債を、低利率での借り換えで利払いを節減せよ。

町長 昭和56年度借り入れの中には、7%を超えるものがある。減債基金による繰り上げ償還など、英知をしぼり創意工夫したい。

問 「官官接待」の全廃と食糧費の大幅な削減を求めらる。  
平崎企画財政課長 食糧費

は平成7年度に20%削減。8年度はさらに見直したい。

鬼原環境保健課長 平成8年度は、アルミ缶の回収を積極的にやりたい。

トレー等は広域圏で検討

問 条件付一般競争入札の実施を求める。

を重ね、9年度にできるものから実施したい。筒型乾電池は県内の大半の市町村は埋め立てている。

町長 大規模工事は制限付き一般競争入札を含め、入札制度を検討したい。

炭カル袋は住民からも理解と協力を得ていると思う。一年を総括して評価と検討を行いたい。

食品トレーや  
ペットボトルも

分別収集せよ

問 近隣の工場でリサイクルしている食品トレーをはじめ、飲料用紙パック、ペットボトルも分別収集せよ。乾電池は黒部市のように分別収集すべきである。弱くて無意味な炭カル袋は、来年はやめるべきである。

簡易水道を促進せよ

問 地下水位の低下が町民に不安を与えている。簡易水道事業の促進を検討せよ。  
町長 飲料水の確保は市町村の義務と受け止めている。簡易水道整備は十分受け入れる考えである。

転作の

厳しい規制を

見直せ

問 米価の下ごさえを国に要求せよ。集団転作の厳しい規制の見直しが必要。

低利の農業者育成融資制度をつくる考えはないか。  
WTO協定の改正を求め

る運動をどう展開するのか。  
町長 米価の下ごさえ要求は必要と思うが、多くの問題がある。  
WTO協定の見直しは国全体の利益を守る問題が残るのではないか。

松島農林水産課長 団地等の条件については、柔軟に対応したい。  
融資制度のある先進地を視察し対処したい。

出し平ダム排砂は  
発電優先に  
なっていないか

問 「しんかい2000」による科学的調査を含む、出し平ダム排砂の徹底した影響調査を県に要求せよ。  
排砂ゲートの開閉が発電優先になっていないか。  
開閉の権限は県民の手にゆだねられるべきである。  
町長 十分な調査がなされるものと思う。  
河川法上の管理、発電など若干問題がある。



▲ 数少ないトレー回収場所

# 北陸新幹線の建設に伴う 地元対策を問う

早川 誠 一議員 (自民党)

## 町長 住民との懇談を 大切にして対応する

問 北陸新幹線は、すでに朝日町で着工され、新年度には用地問題や環境など多くの問題が想定される。

町では、今後地元対策について、どう対処されるのか、住民との懇談の機会を持つ考えがないか。

町長 新幹線工事は朝日町で着工され、今年3月に基本測量がなされ、結果も出ると思う。  
多くの問題があると思う

が、一部住民への犠牲は、あつてはならない。

住民の権利や、生活を守る立場から、町も積極的に取り組んでいく。

また、住民との懇談を持ち、今後一体となって対応する。

### 転作面積の

### 内示は守るべきか

問 新食糧法の下では、作

る自由、売る自由が認められた。

しかし本町には、738haの転作の内示があった。これは水田面積の18.8%に当たる。

今回の転作は、町の責任か、生産者の責任なのか、良質米生産地として、町は

今後、積極的な農政の展開が必要でないか。

また、共補償について、どう取り組むのか伺いたい。

町長 新食糧法は11月からであり、課題はこれからである。

町では、特産物等との関連もあり、今後の推移を見定めながら進めて行きたい。転作は自主的に進めるべきと考える。

青木助役 作る自由と国は言うが、価格や量的面でも、転作はやむを得ないものと考ええる。

共補償については、関係機関と協議の上、町としての対応をいたしたい。

### 米の 産地間競争対策

問 国の長い管理下で農民は売る事への不安が多い。

町では、良質米生産地として今後、どのような対策があるのか伺いたい。

町長 町では、以前より大阪府岸和田市の子供等を通じて消費地と交流して来たところである。

まず、うまい米を作るのが大切である。今後も町として、東京や大阪をはじめ、消費地との交流の中で協力していきたい。

# 水博物館の建設は

## 果敢に取り組み

大林政雄議員（自民党）

町長

県営となるよう努力する



▲ この水うまいじゃ（湧水公苑）

問 水博物館の構想は黒部川扇状地の8割を占める入善町としては、着想の根本理念に思いを致すとき、まことに有意義であり、称賛して然るべきであるが、構想自体余りにも狭隘であり、予算額1億2000万は過少である。

問 黒部川の現在まで辿り来た事実を後世に引き継ぐためにもこれに応えるべき構想を樹立すべきである。

町長 ご意見の通り、県営博物館設立について黒部市との協調を県より斡旋中なので、しばらく時間をいただきたい。

問 県はそう安易に軍配を上げられないと思う。

町長 黒部川を愛する貴員の熱弁には頭の下がる思いである。

私も貴員同様、黒部河畔に生をうけており、黒部川を愛する気持ちは人後に落ちないと思っています。

問 予算面に考慮を払い、用地取得のみで、予算執行は幕とならぬよう、また、場所、地積、附帯設備等も明示し、慎重かつ、大胆に進められたい。

町長 大林議員の情熱ほどばしる提言、質問に私も大いに勇気づけられた。

今後のご指導、ご協力を更にお願いとするところである。

### 東京事務所を開設する

#### 考えはないか

問 予算面に考慮を払い、用地取得のみで、予算執行は幕とならぬよう、また、場所、地積、附帯設備等も明示し、慎重かつ、大胆に進められたい。

町長 大林議員の情熱ほどばしる提言、質問に私も大いに勇気づけられた。

今後のご指導、ご協力を更にお願いとするところである。

近時、某社より貴員提言の各件委託希望に接し、如何なものかと黙考しているところであるが、設置に要する経費、時間等の負担、極めて大なること、また、メリットあるにしても速効性に乏しいため苦慮しているのが実状である。

問 速効性に乏しきは充分承知し、町出身の方々、また、JAとも協議を重ね、更に町長の政治的手腕を相乗し実現を期されたい。

町長 ご主旨を尊重の上、着実に検討を加えつつ、前進し貴意に添いたい。



# 古い民家等の

# 保存基準を設けよ!

五十里 隆章議員 (自民党)

町長

将来に向けた

選定基準をつくる



▲ 吉田邸を下見する当局

問 町長の文化行政に対して町民の間にはシビアな見方もある。

古い民家や土蔵の保存、復元に際しては、町民のコンセンサスを得られるような基準に基づく計画でなければならぬ。

現桐山いろり館の場合も現在提案されようとしている吉田邸移築、保存計画も同様の経過である。

将来に向けて、保存のための基準、即ち学術性、歴

史的価値による保存のための基準を設けるべきと思うがどうか。

町長 提案のとおりであり、将来に向けた保存基準のようなものを持つべきと思う。

問 吉田邸を保存しなければならぬ理由は何か理解できない。

全員協議会で説明された内容に私が朝日町役場で調査した内容と異なっている点があるが。

町長 吉田さんの話では、朝日町に内々に持ちかけたが川上家の保存に取り組んでおり、財政的なこともあり断わられた。

吉田さんは入善町吉原の孫であり、光明寺門徒でもあり、入善で保存することも特に、問題はないと考えている。

特に専門家に検討を依頼しては、ないが、私の見た限りでは、梁など大変立派なものである。

問 舟見城址館の補完施設として、舟見地区の皆さんと約束されているようである。

選挙公約との絡みも考えられるので、すべて反古にすることは無理と思う。

舟見地区は、藩政時代、上街道の宿場町として栄え、本陣があった。本陣の復元がふさわしくないか。

町史編集委員の一人は吉田邸は美術的にも、歴史的にも価値が低いという評価であったが見解は。

町長 一部、設計士の方の意見等を聞き、計画に上げたが、今後、議会の皆さんに現場を見ていただいたり、専門家の意見を聞くこと等必要であると思う。

買取費500万円を計上したが、今後の交渉に委ねたい。保存に向けて、前向きに検討したい。

問 吉田邸の由来等顕彰したいということだが、元来、この種の保存の場合、寄付という形式が普通でないか。

町長 吉田さんは、特に買取単価に、こだわってはおりません。

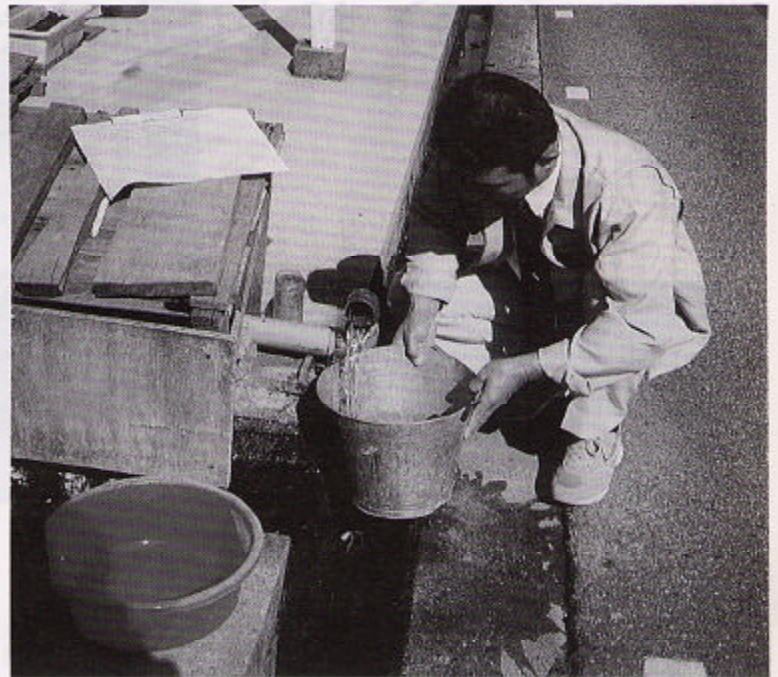
自分が気軽に訪ねることができることを望んでおられるだけである。

# なつとるがけ？

入善町の地下水位が  
軒並み低下している  
と聞くが本当け

答

本当です。特に黒部川の沿線が顕著である。平成7年8月2日から12月2日まで10回測定したが、6mから最大8m低下している。原因は調査中であるが、黒部川本流の長期泥水、水田の乾き、河川の三方コンタリート



▲ 細くなった掘り抜き井戸

化など複合した要因が考えられる。天恵の財産を守るため、関係自治体と力を合わせ、条例などで水資源を保全することが重要である。10月、11月が最も低下したが、それ以後はやや上昇している。

## テレトピア計画ちゃ

### どうやって進めるか

問1 「テレトピア」ちゃ何

答

郵政省が進めている地域情報化構想の通称で、テレコミュニケーション（電子通信）とユートピア（理想郷）の2つの言葉を合わせたもの。

本町をはじめ、2市3町で構成する新川広域圏が、平成7年10月にモデル都市として指定を受け、整備を進めていくことになった。

問2 どうやって進めるか

答

次の4つを基本目標として、新川広域圏で進める。

- (1) 機能的で自然と調和した住みよい地域づくり
- (2) 健康とぬくもりのある地域社会づくり
- (3) 心豊かな人づくりと、文化を育てる環境づくり
- (4) 創意と活力にあふれた地場産業の育つ地域づくり

これらを実現していくためには、圏域内外の多様な分野における交流を進めることが必要である。そのためには、地域の情報を受発信できる情報ネットワークづくりと、各市町の行政サービスを中心とした各種情報システムの整備をめざすことが重要である。

# なぜなぜ問答

# ありやどう

## 中央通り線(入善駅~国道8号)の完成はいつ



▲ 題名「縄文時代の貴婦人」(中央通り線ポケットパーク)

問1

いつになったら、8号線まで、できるがけ

答

昭和63年に事業認可、平成元年度から事業を本格的に進めてきた。予定では、平成8年で、駅から道原商店の前まで完成する。残った8号線まで280mは、平成9年から13年までに完成させたい。

問2

中央駐車場に公衆トイレと米沢記念館が立派になったけど、元中央公民館跡や警察の跡はどうするがけ。現在検討中であり、議会の意見等参考にしたい。

問1

どういう意味け

答

将来、地域社会を魅力あるものにするため、情報化対応、地域間交流等、先導的な取り組みを行う市町村に対し、自治省が積極的に支援を行うものである。

問2

町はどんな事業を考へるとるがけ

答

(仮称)ふれあい交流プラザを建設し、それを中心に「入善扇状地文化むらプロジェクト」構想を策定しようとするもので、これからは有識者や県などの意見を求め、全国に誇れるものを作りたい。

## リーディング・プロジェクト

## ちゃ何け

## 地方自治功労表彰

早川 誠一 議員  
本多 幸男 議員  
広瀬 喜代志 議員

3議員に10年以上在職の感謝状が町長より授与された。



受賞した広瀬、早川、本多の各議員 (左より)

考えさせられた

# 「高級老人ホーム」を視察

奈良県  
おおやまと  
大倭町



▲ 聞いてビックリ……？!

決算特別委員会・文教厚生常任委員会は合同で、11月13日、14日の2日間、奈良県大倭町の介護専用型有料老人ホームを視察した。入居基準は、身体機能の低下、または痴呆症等で常時介護を必要とし、60歳以上で身元引請け人のある人である。

このホームは、全室個室で洗面化粧台やトイレ付きである。また、少人数で家庭的な環境の中で生活できるように、1グループ6〜8人で、10グループ形成されている。朝食は、8〜10時までの間に自分に合わせてとることができ、入居者の世話をするスタッフは、40名の正規職員と数名のパート、看護婦6名が交替で24時間、介護と健康管理をしている。スタッフ1人で1・36人世話することになり、公的な特別養護老人ホームは、ここの3倍の世話をしている。スタッフは制服ではなく、家庭的な雰囲気に対応するために私服である。しかし、入居金35000

万円、月額利用料23万2400円を払って入居する人は、入善町では1人もいないのではないかと。国民年金等の年金生活者では、入居できない施設である。お金さえ出せば良い環境の施設で生活できるという「福祉」ではなく、行政と議会が一体となって、公的施設の充実と、在宅介護を支えるホームヘルパーなど人員の充実に努めなければならぬと、視察者一同、痛感した。

編集の窓  
◆阪神淡路の大震災に始まり、オウムサリン事件、住専の金融破綻など暗い一年であった。平成8年は、七転び八起き。の明るい年を願わずにはおれない。  
◆新年早々、村山首相の退任、橋本新内閣の誕生をみた。国民の論評は分かれるところであつても、先ず、有言実行を以て「景気浮揚策」に期待したい。  
◆現在、建設中の桃李小学校は最後の統合校である。次代を担う子等の教育の場として、9年度開校に全力投球されたい。  
いよいよ、下水道事業が本格的にスタートする。町民各位の理解と協力が急務である。

# 傍聴席からひとこと



野沢久雄さん

(青木)

今回、初めて町議会を傍聴しました。いままで、「議会だより」を読んでいましたが、退職したのを機会に自分の目と耳で議事を傍聴したいと思い、出かけてきました。私がいた2時間余の間に4人の議員からの一般質問と町当局の答弁がありました。町政の今日的な課題について、各議員と町当局の取り組みの一端を知ることができ、関心を高めました。4人の質

問内容は合わせて25項目の多岐にわたるものでした。しかし町長や関係課長の答弁に対する議員の再質問を期待していたが、少なく、不満を感じました。また、傍聴席から、議長席の両脇のヒナ壇に並んでおられる町長以下各課長さんの表情を眺めていて、全員いつも席に居る必要があるのか気になりました。次の議会には、ゆっくりに傍聴したいと思えます。



▲ 見てビックリ……？!

◆「議会だより」は、正月休みを返上して取り組んだ。議会傍聴者も多くなり、議会だよりの成果かなあと感じています。雪による災害が発生しないよう願います。町民各位のご多幸をお祈りします。